



くらしの講座

市と消費者協会の共催によるくらしの講座を、10月5日に働く婦人の家で開催しました。市保健師が新型コロナウイルス感染症を予防するための正しい手洗いの方法などについて説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



第2回市民公開講座

市と拓殖大学北海道短期大学が連携し生涯学習のきっかけづくりに取り組む市民公開講座を10月3日に開催し、同短期大学教授の畠山佳幸さんが、ケニアなどの自然や野生動物の生態などについて話しました。



交通安全ポスター
コンクール表彰式

10月1日、市役所で交通安全ポスターコンクールの表彰式を行い、小学校中学年の部で最優秀賞を受賞した松井啓輔さんほか各部門の入賞者に、市交通安全協会山本会長が表彰状を贈りました。



退任した委員に感謝状

長年にわたり自衛官募集相談員として自衛官の確保に尽力し、3月に同委員を退任した八木茂章さん、小林千加子さん、藤田正男さんに、9月28日、自衛隊旭川地方協力本部二瓶本部長から感謝状が贈られました。

一日防災学校

【9月24日・多度志小学校】



子どもに伝える
防災の心構え

災害の教訓を踏まえた知識の普及や啓発を目的とした本市で初めての一日防災学校を9月24日、多度志小学校で開催しました。この授業には全校児童12人が参加し、火災を想定した避難訓練や、煙が充満した視界の悪い空間を歩く体験を通して災害時に取るべき行動を学びました。また、実際に避難所で使用する段ボールベッドや屋内用テントの設置体験のほか、防災の知識や心構えを学ぶことができるかるたに取り組み、水害や地震などの自然災害への意識を高めました。

こめつち新米&農産物フェア

【10月17日・生きがい文化センター】



新米を味わう
秋の味覚の祭典

深川産米の記念日に合わせ地産地消を推進し、地元の農産物をPRするこめつち新米&農産物フェアを、10月17日に生きがい文化センターで開催しました。会場では、米すくいや炊き立ての新米ご飯の無料配布を実施したほか、ふかがわポークやカレーなどのご飯に合うおかずを提供し、来場者は秋の味覚を堪能していました。また、お笑いコンビのオクラホマとタレントの小橋亜樹さんをゲストに迎えたステージイベントでは軽快なトークと迫力ある歌声が披露され、会場は盛り上がりがありました。

甘酒「Dainari(ダイナリ)」を発売

【9月25日・道の駅「ライスランドふかがわ」】

業種を超えて特産品の開発に取り組むふかがわ地域資源活用会議が企画した甘酒「Dainari」を9月25日に発売しました。この商品は本市の特産品である黒米のおいしさを楽しんでもらうとともに、道内有数のコメ産地である本市の新たな特産品となるよう開発したもので、黒色のネロには深川産の黒米、白色のピアンコには北空知産の酒米を使用しています。ネロは甘さ控えめで上品な味わい、ピアンコはすっきりとした味わいが特徴で、限定各400本を道の駅「ライスランドふかがわ」で販売しています。

どちらがお好み？
黒と白の甘酒



人工知能(AI)を活用した就職支援事業

【10月6日~7日・市内事業所】

10月6日と7日の2日間、市や深川商工会議所などで構成する次世代人材確保対策協議会の主催で、人口知能(AI)を活用した就職支援事業を実施しました。この事業は、地元企業を知ってもらい将来の人材不足解消につなげるため開催したもので、今回は深川西高等学校の生徒が、AIの分析を基に金融機関や建設会社など地元企業10社から1社を選択し、それぞれ訪問しました。生徒たちは業務の内容などについて説明を受けたほか、熱心に質問を行い、地元企業に対する理解を深めていました。

地域における
地元企業の役割を学ぶ



初めての
方の運動教室

10月14日、初めての方の運動教室を総合体育館で開催しました。参加者は実際に器具を使用して体を動かしながら、健康づくりに役立つ筋力トレーニングの方法を学んでいました。



ブルーベリー
栽培講習会

市果樹協会主催のブルーベリー栽培講習会を10月2日に市内果樹園で行い、空知農業改良普及センター北空知支所の職員が、ブルーベリーの品種を紹介しながら栽培方法や収穫時期などについて説明しました。



北海道産牛肉を
学校給食で提供

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている畜産農家を支援するため、10月15日に北空知圏学校給食組合が北海道産の牛肉を使用したメニューを給食で提供し、児童や生徒はおいしそうにほおぼっていました。



認知症を正しく知ろう！

9月26日に認知症普及・啓発イベントを市内商業施設で開催しました。認知症についての相談コーナーを開設したほか、タブレット端末を使用した認知機能テストなどを行いました。